

基礎工事用機械を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	11～12	地盤補強工事現場内で、作業員が補強材に掛けていた玉掛けワイヤーを外している時に運転士が圧入機を動かしたため、玉掛けワイヤーが施工機械のリーダーについているボルトに引っかかり、補強材と玉掛けワイヤーの間に左小指が挟まれ負傷した。	19	30202	7	30～49
2017	4	10～11	被災者がボーリングマシンを相方と移動作業中、油圧シリンダーをにぎり、油圧レバー操作を行った時、油圧シリンダーに挟まれ指を被災した。	53	30105	7	1～9
2017	4	15～16	鉄筋コンクリート造15階建て住宅建設工事現場で、杭打機の解体中に吊荷がはね上がり、杭打機と吊荷に手を挟まれた。	21	30201	7	1～9
2017	6	13～14	重機旋回中、振れ止めが単管パイプと接触しそうになった為、手を添えて振れ止めを動かそうとしたところ、単管パイプと振れ止めの間に右手小指を挟み被災した。翌日より軽作業を行っていたが、その後、患部が悪化した。	19	30201	7	1～9
2017	6	15～16	杭打作業中、ロッドを引き抜き、杭打機旋回中に、他のヘッドに接触しそうになったので、ロッドを手で押しに行ったところ、ロッドとヘッドに挟まれた。	49	30201	7	10～29
2017	6	8～9	現場内作業（柱状改良杭）中に、オーガー先端の拡張刃の作業不良に気づき、セットハンマーで不良箇所を叩いた際に、泥か礫が飛散し右	50	30199	4	1～

			目に当たり被災した。				9
2017	7	10~11	支社機材置場にて、コアボーリングマシンを専用車両から荷下ろし中誤ってコアボーリングマシンのキャスター部を右足に当て、右第2中足骨を骨折した。	43	30106	3	10 ~ 29
2017	7	14~15	新築工事において、仮囲いの作業中、杭打機で単管パイプを地面に打ち込んでいたときに傾いてきたため、戻そうと思い機械を止めたが接触不良で止まらず、咄嗟に左手を添えた際に左母指をプレスした。	60	30201	7	—
2017	10	10~11	被災者がロッドを繋ぐ為、地上4.3mの高さで安全ブロックを装着し、止まっている振れ止めに足をかけて作業を行っていたところ、杭打機オペレーターの誤作動で1.5m振れ止めが落下した。作業箇所から19m上で安全ブロックのワイヤーが何かに引っ掛かったのと、被災者が落ちた衝撃とで、安全ブロックのワイヤーが切れ、被災者は振れ止めの肩に尻もちをつく形になってしまい、臀部挫創してしまった。	27	30201	1	1 ~ 9
2017	10	14~15	メタルロード工事を施工中、50tクローラクレーンでグウンザホールハンマとリーダーを吊り込み削孔位置にセットする際クレーン本体が転倒し約6m下に落下した。下部の削孔口付近にて作業中の被災者にクレーンが直撃し死亡した。詳細については現在調査中。	27	30105	1	1 ~ 9
2017	10	14~15	工区道路改良工事の現場にて50tクローラクレーンにリーダーとハンマーを設置し削孔位置にセット中クレーン本体が落下し、クレーンのオペレーターが負傷した。詳細については現在調査中。	44	30105	2	10 ~ 29
2017	10	14~15	高さ約2.5メートル付近で重機のリーダー部分の解体作業中にパイプレンチでボルトナットを取り外している際、勢いあまって転落し、右手首を骨折した。	36	30201	1	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html